

家賃保証ビジネス

少子高齢・人口減少が到来し、日本の賃貸住宅事情もまさに変革期を迎えようとしている昨今。若者たちは中心都市に集まり空洞化した地方では、空いた穴を埋めるべく外国人労働者の雇用が積極的に行われている。すると必然的に外国籍の人でも住める物件の需要が高まってくるのであるが、今でも外国籍(外国人)を敬遠しているオーナーが多くいるのが現状である。

外国人嫌いの家主

しかしながら、弊社から意見を述べさせていただくと、意外にもリスクは抑えられるということだ。対処法として、

ビザの管理や入居サポートが重要となってくる。日本人が

当たり前だとおもっているルールが外国籍の人にとっては当たり前ではないということをよく理解することも重要だし、入居時にルールを細かく説明することで滞納リスクを低減させることが可能なの



サポート次第で安定稼働に貢献

だ。弊社では、外国籍の人に向けてのサポートを充実させた専用保証商品を、主に不動産各社に提供し、お手伝いをさせていただいている。

なお、国際部を東京支店内に併設しており、専門スタッフによる各国の言語対応、入居サポート等のサービスも展開している。

一部のマナーの悪い入居者のせいで、全ての外国籍の方を入居不可としてしまうことはとても残念なことである。

今後は規制緩和によりオーナー、不動産会社は外国籍の人の入居を積極的に考え、リスクを低減した賃貸経営に目を向ける機会が増えると考えている。

(ほっと保証、白倉賢二)